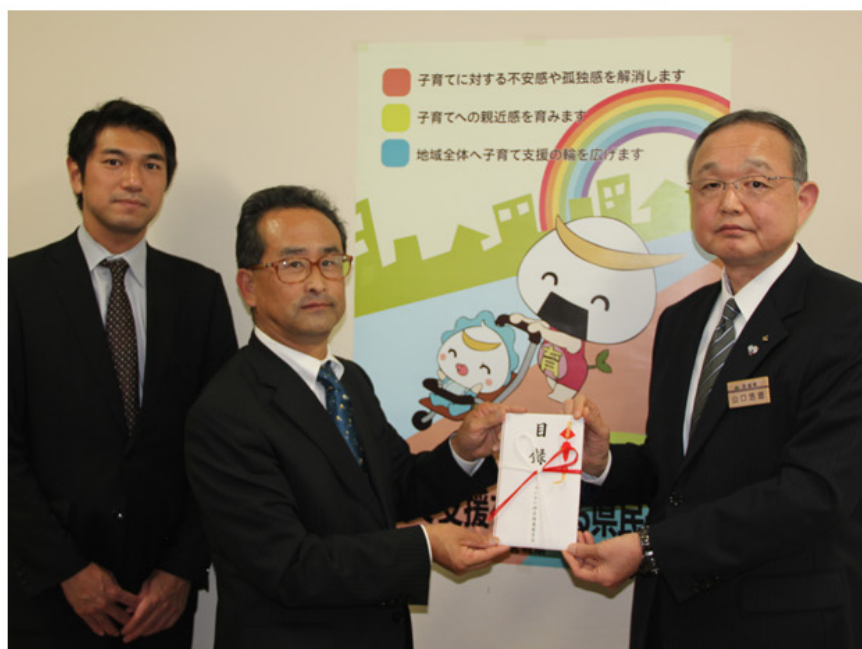


絆の茶で東北支援 収益の一部寄付

東日本大震災で古河市の工場が被災した耐熱ガラスメーカー「ハリオ」（東京都）と、原発事故で一時出荷制限に追い込まれた県西地区特産・さしま茶の生産者が協力した「みんなの絆茶」



宮城県職員（右）に目録を手渡す山中さん（中央）と倉永部長

の売り上げの一部が10日、福島、宮城両県に届けられた。11日には岩手県にも届く予定で、合計額は16万5000円。子どもの教育支援に使われるという。

絆茶は、特製のブレンド茶とガラス製急須か水出し用ボトルのセット。ハリオと茶園などの計7社が企画した。ハリオの企画開発三部・倉永純一部長と目録を届けた「山中製茶」（古河市恩名）の山中将平さんは、「『忘れずにいてくれてありがたい』という言葉に胸が熱くなった。生産者の励みにもなる」と語った。